

胆沢平野



目次

- 1 表紙（放水式）
- 2~3 理事長挨拶
- 4~5 平成31年通常総代会開催
- 6~7 平成31年度予算概要、予算のあらまし
- 8 施行委員会設立、水土里の皆廊プロジェクト
- 9 第2回臨時総代会開催
- 10 永年勤続、一般功労表彰
- 11 総代名簿
- 12 平成31年度通水計画
- 13 平成31年度施設管理人名簿
- 14 機構図、編集後記

平成31年4月22日(月)午前11時より、好天のもと円筒分水工のある徳水園にて「平成31年度放水式」を挙行いたしました。

放水式には、国土交通省東北地方整備局高田局長様、農林水産省東北農政局長田次長様、岩手県農林水産部上田部長様、岩手県企業局藤澤局長様、岩手県南広域振興局平野局長様、奥州市小沢市長様、金ヶ崎町高橋町長様をはじめ関係機関、各団体の皆様のご臨席を賜り神事を執り行いました。神事の後には胆沢の狼ヶ志田神楽保存会による御神楽が奉納され、出来秋の五穀豊穣を祈りました。農業用水の通水は9月10日までとなっております。



理事長あいさつ

(4/22放水式挨拶 抜粋)

胆沢平野土地改良区 理事長 及川 正和

胆沢平野に本格的な水田農業の始まりを告げるこの放水式は、胆沢ダムがもたらす、絶えることのない農業用水が、農家組合員の命の糧となる9,224.6ヘクタールの田んぼに、新たな生命力を宿すための大行事であります。円筒分水工に吹き上げる三本の大噴水を合図に、命の水であります農業用水に満たされた「田んぼ」が、4月のやわらかな陽射しに照らされて、光輝く田園風景へと衣替えを告げ、半年に亘る農家の努力に応えるが如く、無事、豊穣の秋を迎えることを祈願する神事として、6,561名の組合員が毎年この日を待ちわびておられます。

さて、昨年は岩手県南地域では一時的な低温・日照不足がありました。概ね天候に恵まれ「北上川下流域」の作況指数も101の平年並みであります。お陰様で、悲願であります「県南産ひとめぼれ」も食味ランクイング特Aに返り咲くことが出来ました。太陽と水と土、そして農家の方々の英知により実現できたものと思っております。

こうした中、本土地改良区といたしましては、平成19年に私が理事長に就任した際「仕事は組合員のために」を運営理念に掲げ、平成21年度より10年間に亘り取り組んでまいりました「胆沢平野土地改良区再生基本構想」も平成の終わりと共に完結し、その最大の成果として組合員の負担軽減を図るべく、一般賦課金の1割値下げと、管内の農業農村に新たな息吹を吹き込む、県営経営体育成基盤整備事業も9地区1,148haが着手できましたことは、本日ご臨席の皆様方のご指導、ご支援、ご協力の賜物によるものであります。改めて厚く御礼と感謝を申し上げます。



今年の2月24日から、役員改選に伴い新役員体制がスタートしております。不肖、私が引き続き理事長を拝命いたしました。ご臨席の皆様方のより一層のご指導、ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。新役員一同は、本土地改良区のこれまでの歴史を糧として、時代の変化に合わせながら、令和の新たな時代に向って、国の「土地改良長期計画」と県の「いわて県民計画」の考え方方に合わせた「胆沢平野土地改良区長期計画」を策定し、本年度よりスタートしております。運営理念を継続し、運営方針には「地域農業の創造」を掲げ、今年度は7項目の実施計画に取り組んでおるところであります。

この長期計画は、農家組合員が生業として、また経営として取り組んでいる地域農業・農村とどう向き合うべきかという課題が背景にあります。

その答えを求めて、地域に根ざした土地改良区として、長期計画を着実に実現できるよう進めてまいりの所存であります。

結びに、農家組合員の皆様方が、本年も天候と水に恵まれ、昨年を上回る作況指標と、食味ランディング特Aを堅持でき、真に豊かさを実感し、喜びと共に無事豊穣の秋を迎えることができるよう役職員一丸となって最善を尽くして参る所存でありますので、組合員皆様方の更なるご指導、ご支援を賜りますようお願いを申し上げご挨拶いたします。

胆沢平野土地改良区 長期計画 5年間(令和元年～令和5年)

○長期計画の運営方針に「地域農業の創造」を掲げ、次の5項目に取り組む

1. 農業生産基盤の大規模化、効率化を図り、以って農業経営の安定化を支援し、担い手確保に結びつける
2. 地域の自然環境を維持・利用しながら地域資源や農村コミュニティーの維持に不可欠な小規模農家の営農環境の整備を図る
3. 健全財政運営の堅持
4. 土地改良資産を活用した農村振興
5. 人材の養成

(※平成31年度の7項目の実施計画については次ページ)



平成31年 通常総代会開催



平成31年通常総代会を3月22日胆沢平野土地改良区2階大会議室において開催いたしました。来賓には奥州市長小沢昌記様、金ヶ崎町長高橋由一様（代理小野寺副町長）、岩手県南広域振興局農政部農村整備室千葉室長のご臨席を賜り、ご祝辞を頂戴いたしました。

議長には、佐倉河地区三宅務総代を選出し、平成31年度事業計画及び各会計予算を含む全16議案について慎重審議いただき、全議案原案のとおり可決決定いたしました。

平成31年度 7つの実施計画の概要

1 用排水管理体制の強化

局地豪雨に対応した排水のセーフティーネットの強化として、雨量計6基を新設し、リアルタイムな雨量の把握による迅速な排水操作を実施すると共に市町と連携強化し内水氾濫防止を図ります。

土地改良区の農業用水管理の心臓部である水管理システムの更新による農業用水の安定供給を図り、3年以内の事業着手を目途に関係機関と協議を進めて参ります。

土地改良法の改正を踏まえ、現在運用している農業用水安定供給計画書を「利水調整規程」に整備し、各水系の適切な用水管理を行います。

また、道水路保護組合への幹線刈払委託費の土地改良区負担分を倍額とし、外部委託も可能な措置を講じて参ります。

2 持続可能な財政運営

再生基本構想10年間、財政シミュレーションを羅針盤とした財政の健全化が図られました。

今年度も内部、外部の変動要因を見据え、今後5年間の財政見通しを基本とし、ローリング幅（費用の増減の幅）を踏まえた健全な財政運営を堅持して参ります。

また、財政運営の根幹をなす賦課徴収業務において、賦課金口座振替金融機関の追加による口座振替促進など、高い収納率を堅持し持続可能な財政運営を進めます。

3 生産基盤整備による活力ある組合員支援

県営ほ場整備事業の事業採択予定地区3地区を含む10地区1,589.7ヘクタールの面工事着手に伴う換地受託業務、補助監督支援業務等の着実な事業実施による円滑な事業進捗を支援します。

また、胆沢平野版農業クラウドシステム（IACS）を活用した実現性の高い営農ビジョン作成支援による事業採択の推進を図って参ります。

クラウドシステムは、平成29年度より本格的な普及を進め、当初目標である50経営体を超え、現在65経営体において活用されております。



議長を務める三宅務総代



祝辞を述べる小沢市長



祝辞を述べる千葉室長



祝辞を述べる小野寺副町長

4 事務処理の迅速化と書庫の省スペース化

水利施設の図面や諸元などを電子データ化することによりデータ検索とアウトプット（出力）の迅速化を図り、組合員並びに関係機関からの問い合わせに迅速に対応して参ります。

また、処務規程第7章の一部改正による永久保存書類の電子化を進め、保管場所の省スペース化を図ります。

5 創立70周年記念として区史第4巻の編纂

2020年（令和2年）に創立70周年を迎えるため、今年度に編纂委員会を組織し、50周年に発刊した区史第3巻以降の胆沢ダムの竣工による本格供用開始、岩手・宮城内陸地震、東日本大震災の被災、国営並びに県営大区画ほ場整備事業の展開、土地改良区統合計画による合併、新事務所建設、維持管理事業の変遷、徳水園及び円筒分水アクアパークの整備、そして再生基本構想10年間の成果など、一時代を築いた20年間の歩みを後世に伝えるため、編纂作業を進めます。

6 土地改良を契機とした地域振興への取り組み「水土里の皆廊プロジェクト」

農林水産省が進める土地改良を契機とした地域振興への取り組みを実践すべく、「水土里の皆廊プロジェクト」を立ち上げ、土地改良により生み出された田園景観と胆沢平野のシンボルである円筒分水工、水利歴史遺産である葦名堰、そして胆沢ダムや産直施設などの観光資源を地域の方々を主体としたネットワークを構築し、土地改良区による農村振興に取り組みます。

多くの方々が参画する取り組みを表現し「皆廊」としております。

7 多面的機能支払交付金の地域活動の継続支援

平成19年度の制度導入時より、管内11地区の運営委員会より事務を受託し、多額の交付金を扱うリスク回避、工事発注及び工程管理等による工事品質の確保、そしてシステム入力から成果品作成まで、地域が活動に専念できる環境を第一に考え、地域活動支援を継続して取り組みます。



平成31年度 予算概要について

平成31年度予算は、昨年度一般賦課金1割値下げの際に今後5年間の財政見通しに基づき作成されております。重点取り組みとして、排水のセーフティネットの強化に予算を重点計上し、約21,500千円増となっております。これは内水氾濫対策としての雨量計設置工事、監視カメラ設置工事約12,000千円、そして組合員の負担軽減となる災害対策費、幹線水路刈払委託費の約10,000千円増を計上したものであります。単年度収支ではプラスを計上する見通しとなっており、各会計適切な予算執行管理のもとに進めて参ります。

◎収入・支出予算額及び前年度比較

(単位：円)

項目	平成31年度収支予算額	平成30年度収支予算額	比較増減
一般会計	642,320,000	702,208,000	△ 59,888,000
維持管理特別会計	256,642,000	177,341,000	79,301,000
通過金特別会計	517,195,000	574,495,000	△ 57,300,000
計	1,416,157,000	1,454,044,000	△ 37,887,000

※1 一般会計：土地改良区の運営に関する予算

※2 維持管理特別会計：土地改良施設の維持管理に関する予算

※3 通過金特別会計：農業農村整備事業実施における事業負担金・事業償還金から手数料を引いた額で基本的に削減することが出来ない予算

◎一般維持管理事業

(単位：千円)

事業種別	地区名	工種	事業量	事業費	資金内訳		
					補助金	借入金	その他
基幹施設事業	胆沢平野地区	水路	34箇所	19,600	—	—	19,600
小用排事業	胆沢、水沢、前沢	水路	1,700m	23,900	11,950	—	11,950
清水下笠町水路整備事業	清水下地区	水路	175m	61,100	61,100	—	—
合計				104,600	73,050		31,550

◎土地改良施設維持管理適正化事業

(単位：千円)

地区名	工種	事業量	事業費	資金内訳			施工場所
				補助金	借入金	その他	
真城高縁除塵機	施設機械	一式	5,100	4,590	—	510	水沢真城
茂井羅北堰東田除塵機	施設機械	一式	3,800	3,420	—	380	胆沢南都田
合計			8,900	8,010	—	890	



平成31年度 予算のあらまし【一般会計及び維持管理特別会計、通過金特別会計の合算】

表1：収入

収入予算額（千円）			説明
一般	土地改良事業収入	404,482	一般賦課金、償還賦課金、決済賦課金
	付帯事業収入	69,040	施設使用料、排水使用料
	受託料・補助金等収入	142,311	換地業務受託、多面的事務受託、補助監支援事業受託ほか
	その他収入	26,487	積立金取崩収入、用悪水路払下土地代金、繰越金など
維持管理特別	土地改良事業収入	5,916	小用排地元負担金、基幹水市町負担金、除塵機電気料
	補助金等収入	112,877	小用排市補助金、適正化補助金、基幹水補助金、国造補助金
	積立金取崩収入	1,000	ほ場整備地区維持管理支援基金取崩
	繰入金	136,849	一般会計より繰り入れ
通過金特別	補助金等収入	173,586	県営計画調査事業、集積促進費
	換地清算金収入	3,071	裏新田地区換地清算金収入
	繰入金	90,488	ほ場整備地区維持管理支援基金取崩
	借入金収入	250,050	一般会計より繰り入れ
合計		1,416,157	

表2：支出

支出予算額（千円）			説明
一般	運営事務費・事務所費支出	361,673	人件費、報償費、委託費、消耗品、光熱水費、事務所修繕費など
	固定資産取得支出	12,969	公用車取得、パソコン更新、レーザープリンタ更新など
	積立金繰出金支出	34,349	維持管理積立、公用車維持管理積立、ほ場整備地区維持管理支援基金など
	繰出金・予備費	233,329	維持管理特別会計、通過金特別会計へ繰り出し、予備費
維持管理特別	非補助事業費	166,192	小用排、基幹施設事業等の工事費、道水路保護組合交付金など維持管理費
	補助事業費	88,935	幹線刈払、塵芥処理委託、適正化事業など維持管理費
	固定資産取得支出	1,515	無線機更新費、水路用地買収費など
通過金特別	支払・納付換地清算金	3,071	裏新田地区換地清算金支払
	負担金等	350,163	県営計画調査事業負担金、県営基盤整備事業負担金、集積促進費
	借入金返済支出	163,961	国営、県営基盤整備事業に係る事業償還金
合計		1,416,157	

平成31年度 賦課金一覧表【10アール当たり】

表3：一般賦課金

区分	金額
一般地区	2,790
揚水機併用地区	1,953
揚水機専用地区	1,674
太郎ヶ沢地区	1,674
大歩、金入道地区	1,116
黒石地区	2,790
生母白山地区	2,790
生母白山地区(畠)	279

(単位：円)

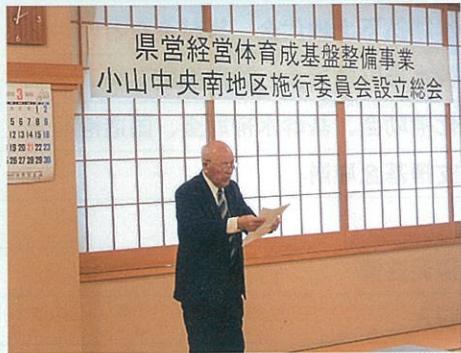
表4：幹線償還賦課金

区分	金額
一般地区	500
大歩、金入道地区	200
黒石地区	500
生母白山地区	500

(単位：円)



県営経営体育成基盤整備事業 小山中央南地区、小山西地区 施行委員会設立



挨拶をする小野寺司委員長

小山中央南地区 3月7日(木) 午後2時～ 小山地区センターにて、県営経営体育成基盤整備事業小山中央南地区施行委員会設立総会が開催されました。受益面積は147.7ha。4年間の調査事業を経て昨年4月から本同意をとりまとめ、県へ申請しました。昨年11月に事業採択となり、本年度は測量設計等を実施する予定となっています。



挨拶をする佐藤清信委員長

小山西地区 3月7日(木) 午後3時30分～ 小山地区センターにて、県営経営体育成基盤整備事業小山西地区施行委員会設立総会が開催されました。受益面積は168.0ha。4年間の調査事業を経て昨年6月から本同意をとりまとめ、県へ申請しました。昨年12月に事業採択となり、本年度は測量設計等を実施する予定となっています。

「水土里の皆廊プロジェクト」が始まります

土地改良事業により生み出された農業水利施設や、地域の水利歴史遺産、そして農村景観と産直等を活用し、地域の方々を主体とした土地改良区による農村振興に取り組んで参ります。



水利歴史遺産
葦名堰

胆沢平野土地改良区
水土里の皆廊プロジェクト

観光資源
産直

農村景観
散居



平成30年度 第2回臨時総代会

平成31年度 改良区第2回

平成30年度第2回臨時総代会を平成31年2月15日に開催いたしました。

議長には、南都田地区の佐藤高男総代を選出し、一般会計第5次補正予算等を含む全7議案について、慎重審議の結果全議案原案のとおり可決決定いたしました。

今回の議案には、任期満了に伴う第21期理事の選任及び第22期監事の選任について信任投票が行われ、以下のとおり決定いたしました。

平成31年2月25日の互選会の結果、理事長に及川正和理事、副理事長に千田公喜理事、総務担当代表理事に阿部弘志理事、事業担当代表理事に大山等理事が互選されました。また総括監事には高橋久祥監事が互選されました。



議長を務める佐藤高男総代



投票の様子

第21期理事

【任期：平成31年2月24日～
令和5年2月23日】

○第21期理事は、第1被選任区（胆沢・金ヶ崎町）より5名、第2被選任区（水沢）より3名、第3被選任区（前沢）より2名の選出となっております。

第22期監事

【任期：平成31年2月24日～令和5年2月23日】

○第22期監事は各被選任区より1名ずつ計3名選出されております。

土地改良法改正による員外監事

○岩手県土地改良事業団体連合会との契約に基づき、4月から出口貴博会計指導員による指導監査が行われております。



村上 壽仁 (新)
事業担当
第一被選任区 (胆沢・金ヶ崎町)



菅原 健一 (新)
事業担当
第一被選任区 (胆沢・金ヶ崎町)



加藤 豊文 (新)
総務担当
第二被選任区 (水沢)



大山 等 (現)
事業担当代表理事
第三被選任区 (前沢)



阿部 弘志 (現)
総務担当代表理事
第一被選任区 (胆沢・金ヶ崎町)



千田 公喜 (現)
副理事長
第一被選任区 (胆沢・金ヶ崎町)



及川 正和 (現)
理事長
第二被選任区 (水沢)
水沢佐倉河

胆沢若柳
第一被選任区 (胆沢・金ヶ崎町)



岩村 耕 (新)
監事
第三被選任区 (前沢)



浅利 東壽 (新)
監事
第二被選任区 (水沢)



高橋 久祥 (新)
総括監事
第一被選任区 (胆沢・金ヶ崎町)



及川 直人 (新)
事業担当
第二被選任区 (水沢)



佐々木廣行 (新)
総務担当
第一被選任区 (胆沢・金ヶ崎町)



高橋 至 (新)
総務担当
第三被選任区 (前沢)
前沢古城



【永年勤続表彰・一般功労表彰】

本土地改良区発展のため、長きにわたりご尽力いただき大変ご苦労様でした。心より感謝申し上げます。

平成31年通常総代会に先立ち行われた表彰式で、永年勤続表彰25名、一般功労表彰10名が表彰を受けられました。永年勤続表彰は退職された役員・総代の方々へ感謝の意を表するもので、一般功労の方々は長きにわたり土地改良事業推進や施設管理にあたられた功績を讃えるものです。改めて感謝申し上げるとともに、今後の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

永年勤続表彰者

役員



総代



1. 役員（理事）表彰状 [4年以上在職]

(敬称略)

区分	地区	氏名	在職期間		備考
			総代	役員	
理事	小山	吉田 力雄	H11.2.19～H19.2.18 2期8年	H19.2.24～H31.2.23 理事3期12年	通算20年
理事	若柳	佐々木統治		H19.2.24～H31.2.23 理事3期12年	通算12年
理事	若柳	千田 正	H11.2.19～H23.2.18 3期12年	H23.2.24～H31.2.23 理事2期8年	通算20年
理事	真城	佐藤 富雄	H15.2.19～H27.2.18 3期12年	H27.2.24～H31.2.23 理事1期4年	通算16年
理事	水沢	及川 右		H27.2.24～H31.2.23 理事1期4年 H23.2.24～H27.2.23 監事1期4年	通算8年

2. 役員（監事）表彰状 [4年以上在職]

(敬称略)

区分	地区	氏名	在職期間		備考
			総代	役員	
監事	姉体	吉田 勝幸	H15.2.19～H23.2.18 2期8年	H23.2.24～H27.2.23 理事1期4年 H27.2.24～H31.2.23 監事1期4年	通算16年
監事	小山	高橋 勝郎	H11.2.19～H27.2.18 4期16年	H27.2.24～H31.2.23 監事1期4年	通算20年

3. 総代表彰状 [通算して20年以上在職]

(敬称略)

区分	地区	氏名	在職期間		備考
			総代	役員	
総代	佐倉河	小野寺 清	H11.2.19～H31.2.18 5期20年		
総代	小山	菅原 勝吉	H11.2.19～H31.2.18 5期20年		

4. 総代感謝状 [通算して8年以上在職]

(敬称略)

区分	地区	氏名	在職期間		備考
			総代	役員	
総代	小山	小野寺 勝	H15.2.19～H31.2.18 4期16年		
総代	小山	佐々木静男	H23.2.19～H31.2.18 2期8年		
総代	小山	佐藤 敏夫	H23.2.19～H31.2.18 2期8年		
総代	小山	佐々木 建	H23.2.19～H31.2.18 2期8年		
総代	南都田	青沼 和男	H23.2.19～H31.2.18 2期8年		
総代	南都田	村上 善一	H23.2.19～H31.2.18 2期8年		
総代	南都田	千葉 正人	H23.2.19～H31.2.18 2期8年		
総代	南都田	千田 栄悦	H23.2.19～H31.2.18 2期8年		
総代	佐倉河	千田 寿治	H15.2.19～H31.2.18 4期16年		
総代	佐倉河	菊地 米文	H23.2.19～H31.2.18 2期8年		
総代	水沢	千葉 正喜	H23.2.19～H31.2.18 2期8年		
総代	水沢	千葉新太郎	H23.2.19～H31.2.18 2期8年		
総代	真城	佐藤憲志朗	H19.2.19～H31.2.18 3期12年		
総代	姉体	千葉 敬一	H23.2.19～H31.2.18 2期8年		
総代	古城	小澤 和雄	H23.2.19～H31.2.18 2期8年		
総代	黒石	菅原 宰	H16.3.1～H31.2.18 4期14年11ヶ月		

一般功労者

平成三十一年



一般功労表彰

地区名	氏名	地区名	氏名
若柳	阿部 金市	佐倉河	高橋 敬悦
小山	千葉 十吉	真城	鈴木 信雄
小山	黒沢 清治	姉体	菊地 硬一
南都田	高橋 松男	古城	千田 市治
南都田	小原 貞夫	永栄	高橋 丈雄

新総代が決定いたしました。

全体総代協議会長には千葉幸悦総代が選出されました。

○地域自治区総代協議会長には、千葉幸悦総代（水沢）、五嶋義明総代（胆沢・金ヶ崎町）、菅原栄夫総代（前沢）を選出し、全体総代協議会長は、千葉総代、副会長は、五嶋総代、菅原総代の2名となります。

第18期総代名簿【任期：H31.2.19～R5.2.18】

計77名

選挙区	氏名	会長	新・現
第1区 若柳	千葉助美	○	現
	阿部新一		現
	大槻信敏		現
	菊地敬記		現
	渡邊博幸		現
	安倍栄一		現
	松平光典		新
	安倍豊喜		新
	植松郁男		新
	佐藤康昭		新
第2区 小山	佐藤幹男		現
	五嶋義明	○	現
	農事組合法人 アグリ笆森		現
	千田秋男		現
	佐藤節男		現
	佐藤一夫		現
	高橋國廣		現
	岩渕郁雄		現
	佐々木裕志		現
	玉山幸芳		新
	三田貢郎		新
	小原喜幸		新
	高橋安弘		新
	佐藤正行		新
	高橋広幸		新
	高橋貞雄		新
	吉田健優		新

選挙区	氏名	会長	新・現
第3区 南都田	高橋篤文	○	現
	佐藤高男		現
	渡邊善二		新
	千葉正悦		新
	石川良一		新
	高橋正三		新
	高橋昌勝		新
	千田清		新
第4区 佐倉河	三宅務	○	現
	千田和夫		現
	及川政喜		現
	高橋芳昭		現
	青木稔		現
	千葉正文		新
	菊地栄雄		新
	高橋庄壽		新
第5区 旧水沢	千葉幸悦	●	現
	佐々木清人		現
	小野寺修		現
	佐藤孝志		新
	小野丈文		新
	鈴木正善	○	現
第6区 真城	農事組合法人 川尻		現
	橋本一志		新
	及川傳		新
	佐藤則穂		新

選挙区	氏名	会長	新・現
第7区 姉体町	及川章喜		現
	佐藤新美	○	現
	大内豊		新
	及川藤雄		新
第8区 古城	佐藤武志		現
	小野寺和彦		現
	岩渕信一		現
	菅原栄夫	○	現
	阿部政勝		新
第9区 旧前沢	菊地忠夫		現
	高野與七	○	現
	小形忠由		現
	柴田和幸		現
	及川正志		現
第10区 白山	高橋啓史		現
	千葉清郎		新
	吉田壯一		新
第11区 永栄	千田時男	○	新
	高橋新一		現
第12区 黒石町	小原和正	○	新
	藤原淳	○	現
第13区 生母	千田克己		新
	佐々木安彦		新
	千葉和彦	○	新

※●印は、全体協議会長

◎印は、全体協議副会長

○印は、地区協議会長





平成31年度 通水計画

胆沢平野土地改良区4大水系並びに北上川水系の取水計画は次のとおりです。

【寿安水系、茂井羅水系、西南部水系、穴山水系通水計画】

水 系	期 間	内 容
寿安、茂井羅、西南部、穴山水系	4月21日	農業用水通水開始
寿安、茂井羅、西南部、穴山水系	7月20日～21日、7月27日～28日	夏季幹線刈払のため断水
寿安、茂井羅、西南部、穴山水系	9月10日	農業用水通水終了
寿安、茂井羅、西南部、穴山水系	9月11日～4月20日	維持用水通水開始

※日々の通水状況は胆沢平野土地改良区のホームページから確認出来ます。

※夏季幹線刈払日程は、6月の道水路保護組合長協議会総会で決まります。

【北上川水系通水計画】※ポンプによる通水

地区名	通水期間	内 容
生母白山、二渡、内堀、大明神	5月1日～8月31日	用水管理期間

通水に関してのお問い合わせは下記の電話番号までお願ひいたします。

胆沢平野土地改良区 水利整備課 用排水係 ☎080-1696-2925 (水利整備課直通電話)
☎0197-24-0171 (代表電話)

平成31年度賦課金 納期限のお知らせ

一般賦課金	納期限 第1期	令和元年 5月 7日(火)
	第2期	令和元年12月 2日(月)
償還賦課金	納期限 第1・2期	令和元年12月 2日(月)

☆一般賦課金全納・1期(5/7)及び償還賦課金全納・1期(7/31)、口座振替出来なかった場合の再振替は行っておりませんので、岩手ふるさと農協各支店または胆沢平野土地改良区窓口にて現金で納入をお願いします。
(納付書紛失の際は、賦課徵収課までご連絡下さい。)

◆賦課金を納期限までに納付されない場合は、督促状が発行され督促手数料100円が徴収されます。また、その未納金額に対し、滞納日数に応じて年14.6%の延滞金が加算されますので、期限内に納入下さいようお願いします。納入いただけない場合は、差押え手続きを行うことがあります。
(例) 10万円を100日延滞すると…10万円×14.6%×100日÷365日=4,000円の延滞金がかかります。

土地改良区への届出をお願いします

組合員の資格に異動があった場合	農地を転用する場合
<ul style="list-style-type: none"> ■農地の異動があった (売買、交換、贈与、賃貸借契約または解約など) ■農業者年金の受給、後継者へ経営を移譲した ■組合員が亡くなられた ■組合員の住所が変更になった 	<ul style="list-style-type: none"> ■農地を宅地など、農地以外に転用する ■農地が道路など、公共用地で買収された (東バイパス等)

公共機関で手続きをしても、土地改良区へ届け出なければ変更されません。

口座振替可能な金融機関が増えました！

◆一般賦課金、償還賦課金（問い合わせ先：賦課徵収課）
岩手ふるさと農協、岩手江刺農協、ゆうちょ銀行、岩手銀行、東北銀行、北日本銀行、水沢信用金庫、東北労働金庫

☆口座振替希望の方は、問い合わせ先までご連絡お願いします。（口座振替申込用紙を送付いたします）

平成31年度 施設管理人名簿（施設管理人62名）

○水利施設（水門や揚水機等）の管理をお願いしております。

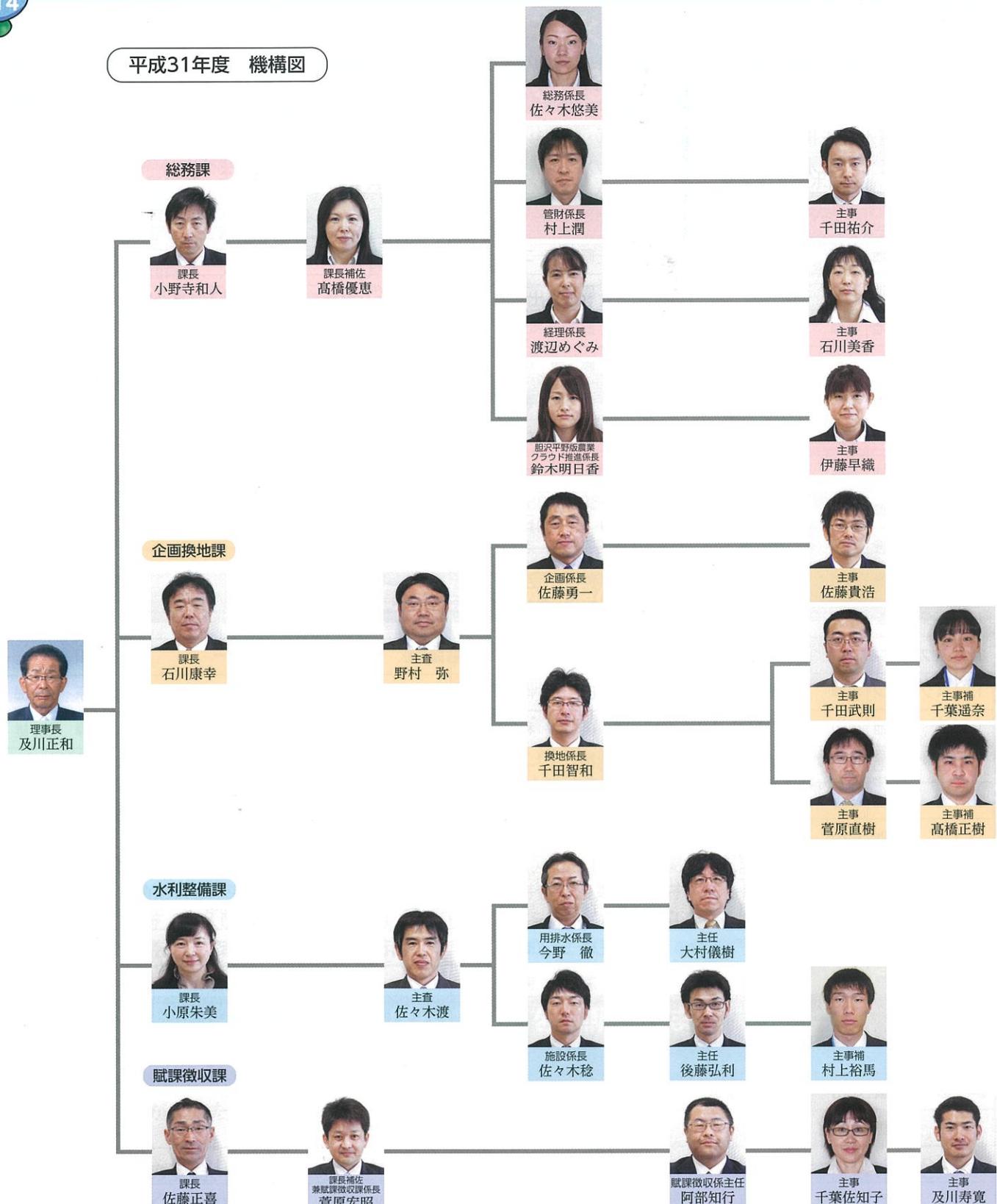
9月10日までの通水期間中、組合員皆様方のご理解、ご協力をよろしくお願ひいたします。

番号	区分	地区名	施設名	管理人氏名
1	溜 池	若柳	十三軒	小 原 洋 二
2	溜 池	若柳	大清水	小 原 洋 二
3	溜 池	若柳	萩森	小 原 洋 二
4	溜 池	若柳	愛宕	佐 藤 康 昭
5	溜 池	若柳	鳴沢	安 倍 豊 喜
6	溜 池	若柳	万治屋敷	村 上 壽 仁
7	溜 池	若柳	野中	佐々木 広 彦
8	揚 水 機	若柳	宮坂	小 原 洋 二
9	揚 水 機	若柳	横沢原	下河辺 良 治
10	除 塵 機	若柳	宮坂除塵機	小 原 洋 二
11	スクリーン	若柳	箸塚	阿 部 金 市
12	スクリーン	若柳	下堰袋	菊 地 敬 記
13	スクリーン	若柳	堰合	吉 田 勝 博
14	溜 池	小山	万内	遠 藤 克 利
15	溜 池	小山	長堤	小野寺 清 一
16	溜 池	小山	駒込三堤	菅 原 一 夫
17	溜 池	小山	土手渡	渡 辺 功
18	溜 池	小山	中沢三堤	岩 渕 幸 男
19	溜 池	小山	与四郎	佐 藤 幹 男
20	揚 水 機	小山	屋白	高 橋 康
21	揚 水 機	小山	二ノ台	岩 渕 幸 男
22	水 門	小山	大畠	村 上 春 男
23	水 門	小山	新田堰	吉 田 誠
24	除 塘 機	小山	駒込除塵機	黒 沢 清 文
25	揚 水 機	小山	1号揚水機	佐 藤 幹 男
26	スクリーン	小山	北赤堰	高 橋 宗 男
27	水 門	南都田	京徳田	石 川 千 早
28	スクリーン	南都田	小十文字・大持	千 田 哲 夫
29	スクリーン	南都田	駒木分水	岩 渕 秀 雄
30	水 門	南都田	鶴田分水	高 橋 重 博
31	水 門	佐倉河	富田	永 井 充
32	水 門	佐倉河	高堰	三 宅 務
33	スクリーン	水沢	大鐘	後 藤 和 良
34	スクリーン	水沢	小違堰後田	小野寺 健 寿
35	揚 水 機	真城	植田	千 葉 昌 章

番号	区分	地区名	施設名	管理人氏名
36	水 門	真城	苅又	佐 藤 節 男
37	水 門	真城	長泉寺(町屋敷)	遠 藤 一 見
38	水 門	真城	塩加羅	千 葉 芳 範
39	スクリーン	真城	志田見沢	小野寺 勝 志
40	スクリーン	真城	中林	深 澤 信 男
41	スクリーン	真城	宮沢	佐々木 諭
42	水 門	真城	瀬台野	小 平 鉄 也
43	揚 水 機	姉体黒石	檜田	志 和 喜 悅
44	水 門	姉体黒石	水ノ口	佐 藤 正
45	水 門	姉体黒石	須江	佐々木 光 生
46	揚 水 機	姉体黒石	内堀	石 川 忠 光
47	揚 水 機	姉体黒石	大明神	石 川 忠 光
48	揚 水 機	姉体黒石	二渡	菅 原 辰 郎
49	スクリーン	古城	栗生沢	小 澤 和 雄
50	スクリーン	古城	板子沢	千 田 市 治
51	スクリーン	古城	明後沢	本 平 叶
52	スクリーン	古城	狼ヶ志田	小野寺 和 彦
53	スクリーン	古城	養ヶ森	菅 原 栄 夫
54	揚 水 機	白山生母	白山・沖沼	佐々木 安 彦
55	揚 水 機	白山生母	天王谷起	吉 田 壮 一
56	水 路	前沢	第7号用水路	石 川 芳 雄
57	水 路	前沢	第8号用水路	佐 藤 弘 行
58	溜 池	前沢	一町歩	福 田 進
59	溜 池	前沢	高堤	鈴 木 松 雄
60	溜 池	前沢	出口	浦 川 公 悅
61	溜 池	前沢	千代治(1)	佐 藤 弘 行
62	溜 池	前沢	千代治(3,4)	高 橋 光 夫
63	溜 池	前沢	三町歩	高 野 與 七
64	揚 水 機	前沢	太郎ヶ沢(1,2)	小野寺 俊
65	揚 水 機	前沢	大桜	門 脇 良 一
66	溜 池	前沢	半蔵	蜂 谷 庄 一
67	溜 池	永栄	北沢	高 橋 一 夫
68	揚 水 機	永栄	谷木前	柴 田 晃
69	水 門	永栄	中島	高 橋 純 一
70	水 門	永栄	大屋敷	高 橋 一 雄



平成31年度 機構図



○定年退職 平成31年3月31日付

長い間、土地改良区の発展にご尽力され大変お疲れ様でした。今後のご活躍をご祈念申し上げます。

賦課徵収課長 及川 英彦 36年間

□広報編集委員

- 委員長：阿部弘志総務担当代表理事
 編集委員：小野寺和人、佐々木悠美（総務課）
 佐藤 勇一、千田 武則（企画換地課）
 今野 徹、村上 裕馬（水利整備課）
 千葉佐知子（賦課徵収課）